

あなたに はつたつ

リレーエッセー④

ふるさと



太田 友比さん
(古田)

趣味 クラシック音楽、旅行など
私には趣味が27もあり、世界一周旅行も果たしましたが、まだ人生多忙を極めていきます。

ふるさとの山や川をはじめ、子どものころの友達や近所の人との付き合い、祭りなどの行事は昔から詩歌にも詠まれ、懐かしくないといけないようになっていきます。

しかし、社会生活も多様化するに従い、人々それぞれの考え方や日々の過ごし方も異なり、新聞・テレビ・ラジオなど各種のメディアに啓発され、ふるさととの定義もおおらかに、土地に根差した郷党意識は郡部に限られてくるようになりつつあります。

これに過去の農業を中心とした社会生活から、人類の科学文明の進化に伴う生活の変化が土着のものと縁が切れやすくなり、

職業的な社会の方が生活により密接な関係を持つようになったところから、今後のふるさと観は変わってくると思います。

老もこの戦前派である私達の時代と、もう五十歳に近いテレビ時代の子もたちとは考え方が全く異なっておりますし、パソコン世代に育つ孫たちに至っては、まるで外国の人たちほどに思想も社会観も異なっています。

父親は亡くなる直前に、太田神社のあるふるさと茨木に帰り、医師であった伯父にみとられ静かな最期を迎えました。

神戸から付き従ってきた幼かった私には、見るもの聞くものすべてが珍しく、短い期間でし

たが田舎のたたずまいがとても印象深かったです。

生まれて初めて見る彼岸花やコスモスをはじめ、祖父の隠居所の水車小屋や河原のざくろなど特に思い出多い風物で、歌にもあるふるさとの面影に重なってまいります。

しかし、仕事の関係で浮草のように十一回も転居した私には、二十五年も住み着いた播磨町こそ、今では本当のふるさとだと実感しています。

祖母の生家は姫路広峰神社の黒田家で、高砂神社・阿閉神社とも縁続きであることが最近になって分かりました。

従って、私にとって播磨町は全く無縁の土地と従来考えていたのが大変な考え違いで、阿閉神社もあり、生まれ育った神戸よりもっと身近な存在になっています。



茶道を学ぶメンバーたち

表千家茶道教室

代表 岩本 澄恵さん

毎月第一・三月曜日の午後1時から中央公民館で茶道を学ばれているのは、表千家茶道教室の皆さんです。

参加したきつかけを聞く、「子育てが終わってゆったりとした時間を持ちたい、日本人として伝統を少しでも身につけたい、動の

ある日常生活に静の時間をもちたい、年を経て人間の幅を広げたい」とさまざま。「茶道は何となしに、遠い存在のものだと思っておりますが、茶室という造られた空間に入りますと立ち居振舞い、客の作法、心得、席入り退出、お菓子の取り方、頂き方、お茶を頂く作法を学ぶことができました」とメンバーの一人。

教室には黒一点の男性の方もおられ、和やかな雰囲気、時折笑い声も。そして、「茶道の心得の第一は、客をもてなすことで、亭主は客への思いやり、客は亭主への思いやりから自然とお互いの心が交流できて気持ちの良いおもてなしができることは、日常生活の心得そのものである」と茶道の基本を丁寧に、教えてくれました。

最後に一言お願いすると、「文化祭やサークル発表会のお茶会、東播磨大茶会にはお客様にご満足頂けるおもてなしができるよう、頑張りたいとお稽古に励んでおります」とのことでした。

このコーナーに登場して下さる「人、仲間たち」をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。企画調整課



花と緑の輪

緑でリフレッシュ

【ガーデニング歴は3年くらいです。】

【ガーデニングの魅力は】

花や緑があると落ち着きますよね。雑貨や自然な木を使ってレイアウトを楽しんでいます。

【アドバイスするとすれば】
やはり気持ちです。気持ちがあれば手入れにも力が入りますしね。そして枯れてくると摘み取るのも大事です。

【思い出に残る出来事は？】
近所で飼っている鳥が逃げたので、置いていた巣箱のところから逃げかけたことです。

【失敗談を教えてください】
寄せ植えしたら相性が悪かったのか、すぐ枯れてしまったことや、子どもが水をやりすぎて根が腐ったことです。

【これから挑戦してみたいことは】
花を増やして、雑貨店みたいにしてみたいです。



萩森さん宅
～野添～

このコーナーに出ていただく方を募集しています。詳しくは企画調整課☎0794-35-0356まで



矢野 範子さん(北本荘)
友人たちと出掛けたオバタリアンの買い物ツアーです！

11月25日の日曜日、スポーツクラブ21のハイキングに行きました。午前9時30分に北公園を出発し、喜瀬川沿いに総合体育館から江井ヶ島までの約10kmの海沿いのウォーキングコースを歩きました。秋晴れの中、穏やかな海の景色が見られ、初めてこのコースを歩いた私は感激。今度両親にもこのコースを案内して歩いてみたいと思いました。その時に参加されていた13人のみなさん、お元気で新年を迎えておられますか。あの日はとても楽しかったです。お世話になりました。のぞのえみち



森岡 由真ちゃん(古田)

お便り写真コーナー

心のメッセージや絵、マンガ、詩、写真などを募集しています。八ガキに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、〒675-0182(個別番号・住所記載不要) 播磨町役場企画調整課まで(掲載させていただいた方には記念品を差し上げますので、匿名希望、ペンネームの方も住所などお書きください)